

# 地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター  
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室  
Vol.68 2017年5月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1392(連携室)

## 栄養サポートチーム (NST) のご紹介



内科総括部長  
荒木 厚

当センターのNSTは外科の黒岩NST委員長(副院長)のもとに集う医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、言語聴覚士(ST)の多職種で入院患者の栄養管理を行っています。NST医師はリハビリテーション科 金丸(晶)医師、総合内科 砂川医師、糖尿病・代謝・内分泌内科 千葉医師、脳卒中科 金丸(和)医師、歯科口腔外科 斉藤医師、そして私で、交代制で回診を行っています。

4月より、栄養科の方は栄養科長の羽根田、NST専従の引地が担当します。

NSTでは週1回の回診や定期的な勉強会、年2回の講演会を開催しています。

急性疾患で入院する高齢患者の約7割は何かの低栄養または低栄養のリスクを持っています。そこに入院後の栄養摂取が不十分という事態が加わると、疾患の内科的治療・手術・リハビリはうまく行かなくなることが知られています。高齢者医療における栄養治療は、疾患の治療とともに車の両輪をなすものです。

平成22年度から28年度までのNSTの実績をNST介入後の総合的な栄養評価指標で見ると、入院中に栄養状態は約45%が改善し、悪化終了または死亡が明らかに減ってきています(図1)。入院期間が短くなっている分、退院のためNST介入が終了となる

患者の割合が増えています。今後は、地域連携を通じて、栄養治療の継続をお願いすることがさらに多くなると思いますのでよろしくお願いたします。

NSTでの最近の取り組みを紹介いたします。経口摂取が可能な患者に対する不要な禁食を減らすため、金丸(晶)医師・ST・栄養士・認定看護師を中心に経口摂取フローチャートを作成しま

した(図2)。このフローチャートの使用方法は、看護師を中心に冷水テストなどで嚥下状態を評価し、必要に応じ栄養士・STによる嚥下評価のサポートを行い、統一した基準で食事開始の判断と食形態を選択するものです。

また、砂川医師と千葉医師を中心に禁食期間にもある程度の栄養摂取が確保できるように、電子カルテ上に末梢静脈栄養や中心静脈栄養のセットメニューを整備しました。その結果、禁食の日数が減ってきています。

老年医学ではサルコペニアやフレイルが注目されていますが、これらにも低栄養が大きく関与しています。NSTでも、体組成計(Inbody)を用いて筋肉量や水分量を評価し、サルコペニアやフレイル対策を含めた栄養管理の試みを開始しています。

栄養の問題を抱えた患者さんは、NST依頼と明記のうえ、内科外来に紹介いただくと、総合内科や糖尿病・代謝・内分泌内科などの病棟で評価と治療ができますので、ご紹介をよろしくお願いたします。

図2 経口摂取開始チャート  
(東京都健康長寿医療センター NST・栄養委員会作成)

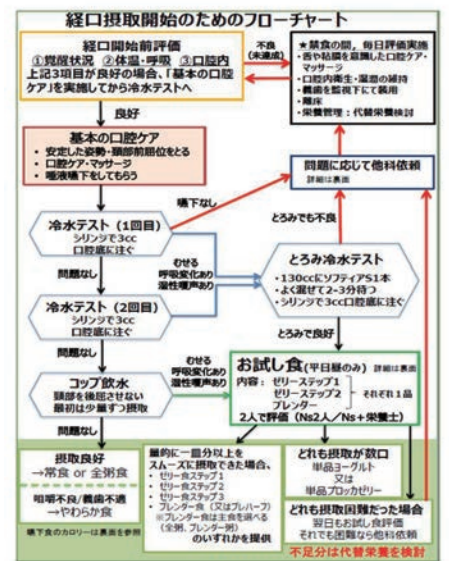
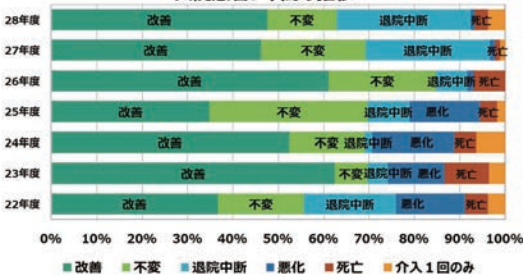


図1 NST介入と総合的栄養評価の変化  
-入院患者7年間の推移-



悪化死亡は減少、退院のための中断が増加

予約専用電話	検査予約	医療連携室	●東武東上線 「大山」駅下車南口・北口より徒歩4分 ●都営地下鉄三田線 「板橋区役所前」駅下車A3出口より徒歩11分 
外来受診予約専用番号 <b>03(3964)4890</b> 対応時間 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	代表電話番号 <b>03(3964)1141</b> 対応時間 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度(内線2171) ◎RI(SPECT、PET検査)(内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っています。	医療連携についての問い合わせ <b>03(3579)6963</b> 医療連携室FAX番号 <b>03(3964)1392</b> ホームページ： <a href="http://www.tmgig.jp/">http://www.tmgig.jp/</a> (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)	

# 口腔機能支援センター (Tokyo Metropolitan Geriatric Oral Health Center : GOC)のご案内



歯科口腔外科部長  
平野 浩彦

8020運動(80歳で20本の歯を残す歯科保健活動)達成者は、20年前には約1割程度でしたが、2016年の調査では約5割の方が達成しているとの報告がありました。このように、高齢者の方々の口腔環境はここ20年で大きく変化し、歯科医療の需要も変化を遂げました。つまり、う蝕、歯周疾患などの口腔疾患治療また義歯作成だけでなく、口腔機能(摂食嚥下機能など)の維持回復への支援を担うことを求められつつあります。こういったニーズに応えるために、口腔機能支援センター(Tokyo Metropolitan Geriatric Oral Health Center : GOC)を設立しました。GOCは、当センターがこれまで培ってきた、地域在住高齢者、フレイル高齢者さらに要介護高齢者(在宅療養高齢者、認知症含む)への口腔疾患のみならず、口腔機能の維持回復するためのノウハウを効率的に地域で推進するための機関として、病院部門歯科口腔外科と研究所部門口腔および栄養関連研究グループとが連携して運営して参ります。

図に示しますように、センター内外に向け様々な役割を担って参ります。今年度は地域の医療、介護職等の方々と連携を深めることを目的に、下記の要領で研修会の開催を予定しております。たくさんのご参加お待ちしております。

## ●第1回口腔機能支援センター研修会

2017年5月21日(日曜日) 13:00-16:00

メインテーマ: 高齢者の口腔と栄養

1. 教育講演「健康長寿:最近のエビデンス」  
東京都健康長寿医療センター 理事長 井藤英喜
2. 基調講演「健康長寿を支える口腔機能支援」  
東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長 平野浩彦
3. 講演「健康長寿を支える栄養ケアと口腔機能～おいしく、楽しく食べるために～」  
東京都健康長寿医療センター 研究所 研究員/管理栄養士 本川佳子

## ◆参加申し込みは以下にて受け付けております。

お手数ですが参加登録をお願いいたします。

<https://coubic.com/tmgoralfunctionsupport/331426>



## 東京都健康長寿医療センターは病院機能評価認定病院です

当センターは平成28年10月に公益財団法人日本医療機能評価機構の訪問審査を受け、平成29年1月4日付で病院機能評価の認定を受けました。

※平成16年に初回認定を受け、今回で2回目の認定となります。認定期間：平成29年1月4日～平成34年1月3日

# 連携医療機関のご紹介 常盤台らいおん整形外科



院長  
小崎 直人

常盤台らいおん整形外科は、東武東上線ときわ台駅の北口から徒歩1分、ベリスタ常盤台というマンションの1階にあります。2009年に開業して以来、おもてなしの心を大事にして、関節リウマチを含む整形外科疾患全般のプライマリケアに取り組んでいます。

当院では、DEXA装置による骨粗鬆症の診断・治療に力をいれています。また、エコーによる軟部組織の評価やエコーガイド下神経ブロックを行っており、X線透視下での骨折の整復や神経根ブロックも施行しています。院内での迅速血液検査も可能です。

外来手術は、手指の骨折(ピンニング)、軟部腫瘍・粉瘤、腱鞘炎、手根管症候群などに対応しています。また、陥入爪など爪疾患の診療に取り組んでいます。関節リウマチには、ナイブ症例を中心としてバイオ製剤の導入も行っています。

リハビリは、物理療法に加えて、理学療法士・柔道整復師による運動器リハビリに注力しています。腰痛、凍結肩、変形性膝関節症を始め、ロコモ対策やスポーツ障害にも積極的に取り組んでいます。また、人工関節などの術後リハ

ビリも患者様が納得するまでフォローいたします。

患者様はご高齢の方も多く、健康長寿医療センターの先生方に併診、ご指導いただきながら外来を進めております。特に整形外科・脊椎外科の先生方には開業以来、本当に温かいご支援を賜り、心より深く感謝申し上げます。

これからも「らいおん」スタッフ一同、誠心誠意、医療に邁進してまいりますので、変わらぬご指導のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

常盤台らいおん 整形外科 東京都板橋区常盤台1-44-1 BELISTA常盤台1F  
TEL : 03-5915-2020 FAX : 03-5915-2019

診療科 : 整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

休診日 : 水曜午後・土曜午後・日曜日・祝日

診療時間 :

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:00 ~ 18:30	○	○	△	○	○	△	△

ホームページ : <http://www.lion-seikei.com/>